

環境保全対策事業

[615]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	52-0101	実施計画
施策	02	地球にやさしい生活の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	環境保全のための教育・学習・実践	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 市内在住、在勤、在学(高校生以上)のかた 市内公共施設	<p><家庭版環境ISOの推進></p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活における環境にやさしい行動の実践を促すため、「家庭版環境ISO」や、その簡易版である「コツコツダイエットプラン」の実施を推進。 <p><環境教育・環境学習の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の環境意識高揚を図るため、名古屋産業大学や市民団体、市内企業とともに「あさひエコ大学」や「あさひこども環境教室」を開催。 <p><緑のカーテンの実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策として、市を挙げて緑のカーテンを実施するため、市民にゴーヤの苗を配布するとともに、公共施設においてもこれを実施。 環境パトロールボランティアの支援 市民自らの手で地域の生活環境を保全するため、公募により募集した環境パトロール員により、不法投棄や野焼き、建物・土地の管理状況の実態を把握。 <p><温室効果ガスの排出削減></p> <ul style="list-style-type: none"> 市が実施する全ての事務事業で発生する温室効果ガスを削減するため、尾張旭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を運用。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の主体的な環境保全活動が実現できている。 市が実施する事務事業や施設管理上で発生するCO2排出量が削減されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 環境に関する講座の開催数	回	5	1	5	2
	B					
成果指標	C 環境保全対策各種事業参加・参画者数	人	316	236	250	214
	D 市の施設における温室効果ガス排出量	tCO2	4,592	4,779	4,998	4,831
事業費 計			1,200	1,199	1,200	1,361
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他		790	790		
	オ 一般		410	409	1,200	1,361

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況)</p> <p>各種講座等の参加人数(指標C)は、R2実績と比較すると22人減少している。温室効果ガス排出量(指標D)は、R2実績と比較すると52t-CO2増加している。</p> <p>(原因)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による講座・フォーラムの中止及び定員制限のため、減少した。</p> <p>R2年度において休館により減少した電気使用量が、緊急事態宣言解除後の利用再開によりほぼ通常どおりに戻ったため、コロナ対策と合わせて増加した。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	家庭環境ISOの見直しを含めた変更を検討します。		
実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	Co2Co2ダイエットの項目等内容の変更を検討した。		

再生可能エネルギー利用推進事業

[614]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	52-0201	実施計画	対象
施策	02	地球にやさしい生活の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	省エネ・再生可能エネルギーの利用促進	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内に居住するかた(今後居住予定のかたを含む)	<p><住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金> 自ら居住する建物に設備を設置しようとするかたに、設置に係る補助金を交付。 1 一体的導入、～に加え～のいずれかひとつを同時設置で補助 2 単独設置、～は各設備単独で補助</p> <p>住宅用太陽光発電施設 1kWあたり13,200円(上限額4kW) 家庭用エネルギー管理システム(HEMS) 補助対象経費の1/4(上限1万円) 家庭用燃料電池システム(エネファーム) 補助対象経費の1/4(上限10万円) 定置用貯蔵型蓄電システム 補助対象経費の1/4(上限10万円) 電気自動車等充電設備 補助対象経費の1/4(上限5万円) 高性能外皮等 補助対象経費の1/4(上限10万円) 断熱窓改修 補助対象経費の1/4(上限6万円) 市内業者施工の場合、各設備の補助金額×1.2</p> <p><公共施設への再生可能エネルギーの導入> 行政が率先して地域温暖化対策を進めるとともに、防災拠点の機能強化を図るため、公共施設への再生可能エネルギーの導入を促進。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 補助金交付世帯数	世帯	62	68	60	59	
	B 補助金交付設備数	台	116	110	80	118	
	成果指標	C 補助金交付世帯数(累計)	世帯	836	904	956	963
		D 補助金交付設備数(累計)	台	952	1,062	1,112	1,180
事業費 計			7,853	8,000	8,000	8,000	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	1,906	1,949	1,800	1,973
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		5,947	6,051	6,200	6,027

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 補助金交付世帯数(指標C)は、R2実績と比較し6世帯減の59世帯である。 補助金交付設備数(指標D)は、R2実績と比較し8台増の118台である。</p> <p>(原因) 一体的導入(高性能外皮等)による補助額の大きい交付申請が多かったため。 一体的導入による複数設備の設置が多かったため。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	広報及びホームページの掲載内容、掲載時期等並びにその他周知啓発方法を検討します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

・掲載時期を4/1号(市HPも4/1掲載)に変更。
 ・事業案内の内容(提出の流れや記載方法等)を修正して掲載。

環境基本計画推進事業

[619]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	52-0901	実施計画
施策	02	地球にやさしい生活の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(市民団体・事業者含む)、市(市職員)	各種の環境保全等に対する取り組みを総合的かつ計画的に推進するため、市民参画のもと策定した「尾張旭市環境基本計画」(平成19年3月策定、平成27年3月中間見直し、平成36年3月計画期間終了)の確実な進行管理と、社会状況等の変化に基づき内容の見直し等によって、その積極的な推進につなげる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>< 取組み内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係各課へ環境基本計画の進捗状況等を確認 確認結果を集計し、年次報告書を作成 集計結果を環境審議会等で審議 審議結果を年次報告書として公表 年次報告書の結果を踏まえて関連事業の内容を見直し 見直し結果に基づき事業を実施
	総合計画の体系に基づいて、各種の環境施策が市民・事業者等にわかりやすく示され、市民協働による事業等を検討した計画が推進されている。具体的活動が展開されることにより、施策成果の実現が果たされている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 各種会合回数	回	1	2	2	2
	B 環境関連事務事業数	事業	39	40	39	40
成果指標	C 環境基本計画で設定した施策進捗指標の目標達成率	%	35	40	66	35
	D					
事業費 計			58	52	128	52
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	58	52	128

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「環境基本計画で設定した施策進捗指標の目標達成率」R3実績は、R2実績より5ポイント低下した。 (原因) 施設整備などの公的な分野の指標達成率が向上しているが、市民や市民団体及び事業者と協力が必要な分野の指標が伸びていない。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	次期環境基本計画の策定検討の準備を行います。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
専門家へのヒアリング等により、次期計画策定への情報収集を行いました。			

環境庶務事務

[942]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	99-0308	実施計画	
施策	02	地球にやさしい生活の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課職員(環境課庶務事務)	環境課の主な庶務事務(%) ・庁内外文書の收受及び処理(30) ・郵便物の発送(10) ・課内の備品・消耗品の管理・調達(5) ・時間外勤務の整理(5) ・出張命令書の整理(5) ・年次休暇・出勤簿の整理(5) ・財務会計の処理(15) ・予算・決算に関する事務(10) ・尾張旭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に関する事務(5)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	課の「庶務事務」を正確、迅速、円滑に進める。 ・行政評価に関する事務(5) ・各種負担金に関する事務(5)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標	事業費 計			1,303	252	289	242
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		12	12	12	12
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般	1,291	240		277	230		

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-